



兵庫支部 NEWS H19 12月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)
ホームページ: <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座00980-2-245822
口座名: 北九州市立大学同窓会兵庫支部

銭谷支部長が転居の為辞任 後任支部長に大村副支部長が就任

11月18日(日)午後1時から垂水勤労市民センターにて平成19年度第2回役員会が開催された。

当初この役員会は来年の役員改選に向けての基本的な構想を討議する予定であったが、銭谷支部長の辞任の意向を受けて、後任の支部長選任が主要議題となった。

定刻午後1時に二宮事務局長の開会宣言に続いて、銭谷支部長から辞任理由の説明があった。

検診の結果ガンの再発が確認され故郷の門司に転居して治療に専念す

ることとしたので、支部長職を辞任する。12月5日引越し予定につき、12月8日の忘年会は欠席する。

支部長職での大きな思い出は、20周年記念誌を作成したこと、今年の支部総会では生田神社で御祓いを受けるユニークな総会が出来たこと、と辞任の挨拶があり、続いて、10月に出席した全国支部長会の報告があった。(詳細は11月号に掲載)



(大村副支部長(左)と銭谷支部長(右))



(役員会風景)

部長を引き継ぐことに満場一致で決定した。大村副支部長も就任を了承。任期は前任者の任期を引き継ぎ、来年の支部総会開催までとなる。

また、評議員が支部長の兼務となる為、平間評議員を改めて幹事に就任してもらう事に決定し、囲碁の会の会長も引き継ぐ。

銭谷支部長から退任にあたり以下の要望があった。

後任支部長の選任について、11月3日明石海峡ウォークラリー終了後役員有志が明石に集り協議した結果を名越顧問から説明があり、大村副支部長が支

組織活性化委員会を発足させ、三宅幹事、佐藤幹事の努力で「平成の会」が産声をあげ、第1回の集会が実施され、第2回目の集会として忘年会が予定されているが(11/25)、参加人数が少なくても是非継続させていきたい。

総会パンフレットの巻頭言、兵庫支部NEWSの発行も是非継続して欲しい。

夢として北九大祭りとも言うか兵庫支部のイベントとして、大学をPRする場を設けて、親子囲碁大会

(役員会風景)

のような、家族と一緒に楽しめる様な催事をして、大学のパンフレットなどの配布など、一人でも多くの人が母校を受験してくれればと思う。

「平成の会」忘年会を11月25日開催予定で現在4名の参加予定と佐藤幹事から報告。猶、支部からの助成金が手渡された。



(後列左から、佐藤、前原、安徳、松山、山田、三宅)

(前列左から、二宮、名越、大村、銭谷、藤田)

長期構想検討委員会のその他の検討事項の進捗状況について、安徳幹事長から質問があり、支部長の評議員兼務以外具体化しものはないとの回答があった。

三金会会場「フリージア」のママのお見舞いについてその後の経過説明の要望が藤田会計監査からあり、忘年会出席予定の為、同席でお見舞いと感謝の花束を渡す予定と報告があった。

忘年会の開催案内は、今年及び昨年支部総会出席者全員に往復はがきで案内する事とする。(2頁に続く)



損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

「三金会」会場が変わりました。

中国 雲南茶苑

Tel. 078-271-1168

神戸市中央区中山手通
1丁目24-4
ドラゴンズビルB1F

「三金会」

午後6時～8時

会費: 3,500円

中国雲南省の家庭料理
をご賞味下さい。

「囲碁の会」

午後3時～6時



(山手幹線沿い北野坂、みなと銀行 地下1F)

兵庫支部月例会 11月三金会

11月16日(金)午後6時から「雲南茶苑」にて開催されたが、翌々日の18日に役員会を控えているためか、参加者も少なく、特に協議すべき議題も無く歓談と中国民謡の歌唱練習で時を過ごした。

コーラスの会に毎週参加している平間氏は、中国民謡である「茉莉花の唄」?とかの唄を原語で、ママの李紫君のピアノ伴奏と歌唱指導で練習し満足顔。



参加者は、大村実良(33商) 平間正昭(37商) 二宮慶治郎(38米英) 安徳信義(44商) 久芳健二(44中国) 名越英昭(37米英) の6名だけだった。

三金会に先立って行われている「囲碁の会」も平間安徳、名越の3名のみで少々淋しい会となった。全くの初心者の方でも懇切丁寧に手ほどき致しますので、これから囲碁を覚えてみたいと思われる方どうぞ遠慮なくご参加下さい。

12月の「三金会」「囲碁の会」は12月21日となっています。

平成19年度第2回役員会(続き)

なお、藤田会計監査から、個人的に多忙である事、若い人に門戸を開く意味で辞任の意向を表明されたが次回役員改選期まで保留されることになった。

議事終了後、11月11日に六甲全山縦走大会に参加し見事5回目の走破に成功された藤田会計監査から体験談が披露された。

午後4時閉会后垂水駅前の居酒屋にて送別会。



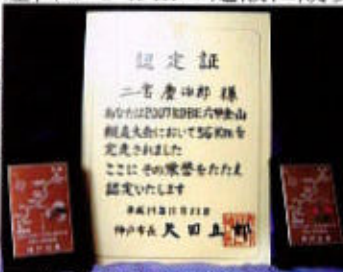
藤田氏と二宮氏が六甲全山縦走達成

歩こう会創始者の藤田氏と現歩こう会会長の二宮氏が須磨から宝塚までの六甲連山5.6kmの走破に成功された。

藤田氏は11月11日に過去4回の成功から3年の空白を経て、古希を迎えた記念に、4枚の楯を5枚にして扇形に飾りたいとトレーニングを重ねて挑戦。

途中2度脚が痙攣するというハプニングを岩塩と水で克服して終盤では先行する人を追い越すほど足取りも快調となり、所要時間15時間半でゴールイン。

二宮氏は平成15年に一度完走したが、その後3回途中で挫折し、今回11月23日4度目の挑戦で見事完走を果たした。第2チェックポイントの摩耶山掬星台では締切時間直前に、第3CPの東六甲分岐点では締切の6時半ぎりぎりに、ゴールの宝塚に締切10時40分直前に到着。所要時間17時間半、よく頑張りました



(二宮氏の完走認定証)

歩こう会11月例会 有馬富士登山

11月11日(日)新三田駅に集合したのは、二宮会長、安徳及び名越の3名のみ。3人とも前夜は高校同窓会などの飲み会で万全の体調とは言えないが、第1回以来欠かさず続けている「歩こう会」を継続していこうと、そのうち人数も増えるだろうと、頑張っている。今回は三田市にある有馬富士を目指して新三田駅から、福島大池を経由して有馬富士頂上へ、東側へ下山して三田GCを経由して三田駅までの約10kmのコース。



(重い袋二人で運ぶ)

二宮会長は、携帯ガスコンロとカップラーメン及び水2Lペットボトルを用意し、山頂で暖かいラーメンをとサービス精神を発揮。重い袋を二宮・安徳の二人で運ぶ。50分ばかりで福島大池に到着した



(福島大池と有馬富士)

ここからの有馬富士の眺めは素晴らしい。有馬富士は有馬温泉の近くにあるものと思っていたが、三田市内即ち旧有馬郡に位置していることからと納得。有馬富士までの登山道は整備され比較的なだらかな上り坂で、家族連れハイキングには適しているようだが、最後の頂上への上り道はかなり急坂の丸太階段が続き一汗掻いた頃に山頂の広場に到着した。出発して約1時間半だった。



(山頂への急坂の丸太階段)

山頂には先生に引率された小学高学年?の子供達で賑わっており我々の昼食の場所を確保に一苦勞。早速持参の携帯ガスコンロを立ててカップラーメン用のお湯を沸かしていると、小雨が降り出した。たかだか374mの山だが、やはり山の天候は変わりやすいのだろう。急遽傘を差しかけてお湯に雨水が入るのを防ぎ、湧き上がったところで、安徳氏持参のワンカップ酒を燗して体を温め、カップラーメンを啜る。



(山頂374mの標識と二宮・安徳)

帰路は上ってきた道とは反対側の道を下山する。途中有馬富士東麓古墳群の側を通り抜け、三田GCクラブハウス前を通過し、三田青磁として全国に知られた三田焼の窯跡、三輪明神窯史跡園を右手に見ながら、JR三田駅へと向う。

山頂から約1時間半でゴールの三田駅へ到着した。今回も、二宮会長が兵庫の山々を紹介した小冊子から選んだコースを地図を頼りのハイキング行だったが初めての土地を探索して歩くのも「歩こう会」の楽しみの一つだ。二宮会長のコース選びのご苦勞に感謝。

カニカニクラブ定例会

但馬香住海岸観光とカニのフルコース堪能

長岡豊雄（44米英）

この小旅行が予定された11月24日25日の両日は絶好の行楽日和に恵まれました。この時期、晩秋の日本海側にしては、例外的に風の無い、暖かい日差しのお天気でした。これも、ひとえに参加者の日頃の行いが良いせいでしょうか？

24日の遅い午後参加者13名が三々五々、香住の大乗寺の近くにある、鄙びた温泉、矢田川温泉に集合しました。

昨年夏、当時住んでいた明石から、広島への田舎に引き込んで以来、約一年半ぶりに皆さんと再会。皆さんの殆どの方が現役で活躍されているせいか外見上あまり変わりはない様子。この私でも、現役の頃はそれなりの仕事上の責任とそれに伴うストレスを抱えていましたが、皆さんにこうして再会すると、妙にこのストレスが懐かしく思われました。OUT OF SIGHT, OUT OF MIND. 時折こうして、旧交を温めなくてはとの思い。

温泉につかり、運転の疲れをとり（ドライバーの方々有り難うございました）、本日のメインイベント、カニのフルコースの民宿双葉荘へ到着。到着するや否や間近の湾の潮のにおいと共に、カニのにおいがブンブン。皆さんカニにむさぼりつつも、アルコールの方もきっちり召し上がっていました。

このカニカニクラブも今回で5回目との事、何やら伝統らしきものも芽生えてきました。私も、現役時代に一度誘われ、参加するつもりで居ましたが、直前になって、ドイツの取引先の突然の来日で、キャンセルを余儀なくされた記憶があります。今回、幹事の山田さんから声がかかり、余り広島から出歩く機会の少なくなった今、懐かしさと共に今回初めて参加した次第です。

宴会の席で一人一人簡単な現況報告をされて、それぞれの今までを若干垣間見る事ができました。約40年前、皆あの小倉の空の下に一緒に暮らして、卒業後それぞれの道を今まで歩いてきて、それぞれ、人それぞれなのですが、今こうして同席していると、何となく皆にひとつの共通項を感じます。単なるNOSTALGIEとも異なる、抽象的概念。それが同窓というものでしょうか？

翌朝、香住東港より、地元の元気三姉妹が船長の三姉妹という遊覧船で近くの海岸めぐりを楽しみました。日本海の荒々しい波が長い年月をかけてつくりあげた自然の芸術に感嘆しました。特に鎧の袖の歴史と自然を感じさせる岩肌は圧巻でした。

ただ海辺にうちよせられたペットボトル等のゴミの山がこれ折角の景観を損ねている現実に不快感を覚えました。私の暮らしている田舎もそれなりに美しいのですが、やはりこれのゴミがしばしば見受けられます。アル・ゴアのように世界に影響することは出来ませんが、ゴミのポイ棄てはひとりひとりの心がけで解決できると思います。

遊覧の後、近くの朝市でカニ土産ツアー。その後山陰の険しい海岸沿いのくねくねした道路を走り、京都の久美浜に到着。湾を望むこぎれいな割烹料亭碧翠荘にてかきのフルコースの昼食を頂く。隣に湾を取り込む様にして作られた久美浜カントリークラブもあり皆さんここがお気に入りの様子。幹事さんが早速来年のこの会の予約をここにされていました。楽しいこの昼食後、それぞれの車に分乗して一路帰途につきました。幹事や参加者の皆さんのおかげで楽しい2日間を

過ごすことが出来ました。感謝いたします。

私が若い頃還暦といえば随分老いをイメージしていましたが、現実に自分自身が還暦を過ぎて感じるのですが、若い頃の自分と心身とも余り変化していない（成長がストップしている？）と。昭和44年卒の同期の皆さんいかがですか？ 誰かが昔に比べて今は8掛で年齢を考えるべきと言われていましたが、全く同感です。末永くよろしく。

今回の参加者（順不同）：

松山仁、安徳信義、山田紘昭、福永憲彦、久芳健二、川村進、竹田秀壽、浜田勝義、澤田英憲、古川正行、長岡豊雄（以上44年卒）

元田幸治（42年卒）松浦剛（48年卒）

平成の会忘年会に参加して

太田裕之（H1大学院経済学）

去る11月25日に、神戸ハーバーランド・エコールマリン18F、居酒屋「風」で、北九州市立大学同窓会「平成の会」忘年会が行われました。メンバーは三宅隆志（59中国）、今永利明（H4経済）、紅一点の戸梶（渡邊）恵子（H1英米）、佐藤研二（H8法律）と私の5名と人数的には少し残念でしたが、勝手ながら卒業後、ゼミの同窓会に1度しか参加したことのなかった私にとっては、三宅さんを主として皆さんのお話から出てくる、「北方」「守恒」「城野」の地名に始まり、「コープ定食」「S定食」などの懐かしい単語から、学生時代のいろいろな思い出がまさに走馬灯のように甦り、想像以上に楽しいひと時を過ごさせていただきました。



（左から、今永、佐藤、戸梶、大田、三宅）

また、失礼な言い方ですが、皆さん各々が現在、有意義かつ誠実に社会生活を営んでおられ、敬服させられました。私の都合の為に、宴たけなわの中で、途中で終会させてしまうような結果になり、非常に心苦しく思っています。申し訳ありませんでした。

仕事の関係でお付き合いいただいている佐藤さんに教えていただくまで、平成の会の存在を知らなかったような不肖者ですが、これからご迷惑にならないよう都合のつく限り参加させていただけたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料：1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

たっぷり、心行くまで、ひばりソックリさんの唄を楽しみました 平成19年度北九大同窓会兵庫支部忘年会

ひばりソックリさん
左側の人たち
前列左から
岩崎直彦(33商)
松尾祐嗣(45経営)
永翁正臣(41商)
植松久治(44米英)
後列左から
二宮慶治郎(38米英)
名越英昭(37米英)
浜田勝義(44米英)
戸田徳治(33商)
吉本富雄(39米英)
出口耕三(44米英)
藤田博保(35商)
河野旺生(36商)
久芳健二(44中国)
ひばりソックリさん



ひばりソックリさん
右側の人たち
前列右側から
澤田氏(ゲスト)
澤田夫人(ゲスト)
弘埜和子(フリーアママ)
鷹野哲雄(33商)
後列右から
安徳信義(44商)
澤田英憲(44商)
藤澤一範(38中国)
村上勝幸(37商)
前原賢作(40商)
佐藤研二(H8法律)
平間正昭(37商)
大村実良(33商)
ひばりソックリさん

(ひばりソックリショーを終えて皆で記念写真)

平成19年度の兵庫支部忘年会は、銭谷支部長の提案で一昨年に続いて、ひばりソックリさん経営のカラオケスタジオ「ひばり」で開催されることとなったが、銭谷支部長は急遽門司へ転居・退任の為欠席された。ゲストを含め25名の参加で楽しい会となった。午後1時の開始時間を待たず、相当数が集まった頃には逐次弁当を並び、ビールを飲み始める形で、わいわいがやがやと忘年会が始まった。ほぼ全員が揃ったところで、名越顧問が進行役となり、大村新支部長の挨拶と乾杯の音頭、そして病氣治療のため「三金会」会場の「フリーア」を閉店された弘埜和子氏(ママ)にお見舞いと感謝の花束贈呈、六甲全山縦走を見事に成功させた藤田博保氏(35商)と二宮慶治郎氏(38米英)の偉業を松山氏から紹介などなどを織り交ぜながら暫く歓談が続いた。

お待ちかねの「ひばり」そっくりショーは2時頃から始まり、懐かしの美空ひばりナンバー十数曲が、トークを交えながら披露された。昭和40年「明色物まね歌合戦」で十週勝ち抜き日本一となり以来全国を廻り、映画・テレビ等にも出演。美空ひばりさんが52歳で他界されてから18年になるが、否応無く年を重ねてゆくそっくりさんにとっては、いつまでも52歳のままと演じるのはなかなか大変なことのご苦労談もご披露された。



(熱唱中のそっくりさん)

そっくりショーを堪能した後は、そっくりさんを囲んで記念撮影をする。



その後は、出席者の皆さんのカラオケ大会となり、トップで唄った安徳幹事長に続いて、各出場者が次の人を指名する形で、次から次へと、ほぼ出席者全員がステージに立ち、ご自慢の唄を披露して行った。初参加の村上勝幸氏(37商)その美声を初公開。(写真左)唯一ひばりそっくりさんとデュエットを楽しんだのは、大阪から参加

した松尾祐嗣氏(45経営)で、(写真右)会場の注目を浴びた。

約3時間半に及ぶ楽しい忘年会を終えて散会となり、三々五々日暮れ行く街中へと、それぞれ二次会会場へ、あるいは2日前から始まった神戸ルミナリエ会場に向った人もあったのだろうか。



(松尾氏とそっくりさん)ルミナリエを見られなかった人たちにと、二宮氏撮影の写真をご披露します(写真左)今年も残り僅かとなりました。どうぞ皆様お元気で希望あふれる新年をお迎え下さいませ。様お祈り致します。



見知らん 入って眼ん玉	忘るるほどの 額に釘思	減たびぞ 宴席は	あ の 世 で は 橋 尾 と ア ト ム 扱 げ 続 い	橋を漕いで サイの河原を 黙 待 思	投 稿 川 柳 思 業 亭
知らん亭	二つ星	鉄腕思	黙 待 思	通 過 中	

初日の出を一緒に見る会

「歩こう会」では毎年初日の出を見る会を開催しています。今年は須磨鉢伏山上の展望台を会場として、開催しますので、奮ってご参加下さい。
平成20年1月1日午前6時集合
集合場所：山陽電車須磨浦公園駅前
須磨ロープウェイ(片道350円)を利用して山上へ、あるいは歩いて登る事も出来ます。その後希望者は生田神社へ初詣に行きましょう。